

陰陽師らによる 天変観測と暦作成の変遷

安倍晴明など陰陽師らは政治的理由で天変の観測と暦作成を担当していました。暦は、江戸時代には幕府主導で、渋川春海に始まる日本独自のものが制作されます。それと同時に天変の捉え方も西洋天文学を踏まえて次第に変化していきました。この講座では、これらがどのように変遷したのかその流れを辿っていきます。

講師 青木 成一郎 さん

(京都大学大学院理学研究科附属天文台天文普及プロジェクト室長
・ 京都情報大学院大学教授)

日時 令和7年7月12日(土) 午後2時～3時30分

会場 中央公民館 視聴覚ホール

対象 猪名川町在住・在勤の方優先(先着50名)

受講料 無料

受付 6月1日(日)から中央公民館窓口、
電話(☎072-766-8432)または電子申請。

※6月21日以降は空きがあればどなたでも申込みいただけます。



※手話通訳および要約筆記が必要な方は6月20日(金)までに、
中央公民館(FAX766-8345)までお申し込みください。

【講師プロフィール】

専門は、理論天体物理学(ブラックホール周りの現象)、科学コミュニケーション(京都の歴史天文ツアー:京都千年天文学街道運営、3D映像による講演活動など)、高等教育、教育工学など。

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻博士課程修了(博士(理学))

大阪大学や京都大学で研究員などを務めた後、京都情報大学院大学教授として在職。京都大学大学院理学研究科附属天文台天文普及プロジェクト室長。

猪名川町中央公民館

